

かめっ子 元号

発行:神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ

第48号

2017年10月発行

〒221-0044 横浜市神奈川区東神奈川1-29 東高教育ビル3階
TEL/FAX 045-441-3901 URL:http://home.netyou.jp/77/kanachie/

他まごいひ

衣替えがやっと終わって
少し厚手の上着を羽織って
まち歩き。
秋の長雨で
忘れかけていた青空に
今日はイワシ雲が
浮かんでいます。
掲示板の運動会のお知らせに
かめっ子で大きくなった
子どもたちの
頑張る姿が目につかびます。
今回の元気号は、
七〜九月に開催された
方面別交流会のまとめを
掲載しました。
たくさんの方の支え手さんとの
交流を通して、
講師のぼうださんが勧める
「たまご育て」の場が
まさに「かめっ子」だと、
改めて感じる事ができました。
横浜の子育て支援の要である
地域のみなさんの輪が
これからも広がって
いけるよう
共に学び、共に歩んでいく
一歩いっぽの道のりですね♪



神奈川区 外遊び活動支援事業 ＜松見みはらし公園地区＞



講師 五感教育研究所 高橋良寿先生
今年度も、神奈川区では、
外遊び活動支援事業を実施しています。
かめっ子を開催している
松見みはらし公園では、
「自然遊び実践編」を実施しました。



当日は、かめっ子の支え手の皆さんの他に、町内会の方々も参加してくださり、たくさんの方の親子と、楽しい時間を過ごすことができました。
先生が「指回し」をしながら、「こんなこともできない子が増えているのですよ」との話に、皆、真剣な表情で聞き入っていました。

草花遊び、クズの弦のシャボン玉→
は、初体験者が多く、
自然に生えている草花遊びの面白さ
や不思議、多様性が伝わりました。
子どもの表情からも、子どもにとって
「遊び」が大切なことを確認できました。
支え手の皆さんに見守られながら、親子が草花遊びを
行う時間は、地域の繋がりの大切さ等々、
様々なことを伝える機会にもなりました。



次回は… 11/6 片倉北公園
11/10 西寺尾の丘公園
11/14 豊額寺市民の森



こんにちは！ かめっ子訪問 ＜沢渡地区＞

かめっ子訪問員(中本さん)による「こんにちは！かめっ子訪問♪」がスタート。今回は、開設してもうすぐ1年になる沢渡地区。現場に出向くことで、親子から素敵な声を聞くことができました♡
① かめっ子をどこで知った？
→他地区のかめっ子・回覧板・赤ちゃん学級・社宅の人から..
② かめっ子の魅力は？
→近くなので気軽に来られる・“大人”と会話ができる・地域版の情報を得ることができる…身近な居場所のエッセンスがいっぱいですね♪



たまご かけがえのない「他孫」を地域で育てるために～今ドキの子育てを学ぶ！目から鱗タイム



「子育て、みんな頑張ってる！でも溢れる情報の中、一人で迷い悩んでいる人も多いかも!?
今の子育て事情や状況をぼうだあきこさんから伺い、何が出来るかを皆で考えました。

講師：ぼうだあきこ氏 ● NPO 法人孫育て・ニッポン理事長
NPO 法人ファザーリング・ジャパン理事

今ドキの子育て事情

子育て世代の悩み

産むまでは世界一。産んでからは一人ぼっち

- ・産むまでの制度は多いが、生後1～2ヶ月は検診、母子訪問等を合わせた2時間程度。
- ・泣きに対する不安が高い人が多い。泣き出すと窓を閉める。外にあやしに出られない。祖父母と近居の人もいるが、生後1～2ヶ月の泣きのピーク時に夫が育休取れず、母子二人きりで16時間以上過ごす人は3割、10時間二人きりという人は6割に登る。
- ・食生活の悩みをもつ人44% 過ごし方・遊び方の悩み45%!
- 仕事に復帰し保育士に相談できる人より、
家庭で育児をして、相談できる場や人を探さなければ
ならない人の方が、育児ストレスが高い。
- ・75%の人は子育て前に子どもの世話をした経験がない。
晩産化、少子化、核家族化のため、身近なお手本から
見て学ぶ機会が減っている。
- ・家事負担感の増加、家事能力の低下。
- ・子どもには学校検診があるが、母にはない。



環境も大きく変化!

- ★公園の張り紙
「大きな声を出さず遊びましょう」
「サッカー禁止!見かけたら110番」
- ★落下防止ベルト付きブランコ

祖父母世代の悩み

体力、経済的負担。
孫ブルー、孫ロスを訴える人も。
祖父母のサポートに格差。(年齢的・距離的)



横浜市の子育て



- ・妊娠SOS ・不妊、不育相談、 ・産前産後ヘルパー派遣事業、
- ・こんにちは赤ちゃん訪問 ・母子訪問
- ・産後ケアの紹介 ・妊婦健診
- ・医師が必要と認めた場合は、産後2週間の健診を実施。
- ・自治体ごとの子育て世代包括支援センター機能がスタートする。横浜市では、母子保健コーディネーターが産前産後のプラン作成、18区の地域子育て支援拠点に横浜子育てパートナーが常勤して、子育て家庭をサポートする。

助けて！と言えるつながり

その為“ほどよい距離感で何かあったときに助けてくれる人”を血縁関係の中で増やせない。地域の人が兼ねればいい。江戸時代には仮親制度(セーフティネット)があった。親子に他の子どもが加わるだけで、関係が変わる。「ナナメの関係」ができる。「たまご育て」は、地域作り。多くの人に関わり、他人の子どもも気にかける。「助けて～」と言えるように「お互い様」の関係づくり。「すみません」より「ありがとう」を増やしたい。

おせっかいばあば・じいじ、
レレレのおじさんを増やしたい。
地域でたまご(他孫)を育てよう。

アフリカ・アメリカインディアンの言葉

- ★一人の子どもを育てるには村中みんなの力が必要
- ★土地は先祖からの授かりものではなく、子どもからの預かりもの
- ★お年寄りと子どもを離してはいけない。彼らを引き離すのは過去と未来を断つと同じだ

子どもであるということは、
「大人が入らない子どものみがある空間がある」ということ。子どもには間違える権利がある。間違えることは学ぶこと。幼児期は、これなあに？それで？と問いが多いが、小学生になると問いは減る。大人がすることは、子どもたちの心の中の問いや興味を体験できる空間をあたえることと思います。

子どもの成長と発達サポート

子育て・孫育て・老化予防のヒント

サポートする人が“できない”をみせる。親も“できない”と言える。そんな関係になりたい。“伝えたい事を伝える”を諦めたら終わり。やらないよりマシ！苦手と思ったら引いてもいい。地域に場がある＝地域と繋がる。ヒトは、二足歩行し、笑い、手で道具と火を使い、言葉を使う。歩きましょう！歩くことで、挨拶や声をかけたり、おしゃべりができる。一声かけて、頭なでなで。それだけで笑いがおこる！脳と皮膚は元々同じ細胞から分化し、触れられる人も触れる人もオキシトシンがでる。たくさん触れあいましょう！！



地域でたまご(他孫)を育てよう！

参加者の感想から

- ♥親が全て子育てを背負わず、たくさんの人に見守られて子どもが育っていったらいいなと思いました。子どもだけでなく大人が人の中で生きていくのが大事なんだと感じました。
- ♥「見たことがないことはできない」の言葉が心に残りました。本当にそうだなあと、改めて感じました。
- ♥大人も子どもも誰でもOKのかめっ子の場。ひとつひとつの出会いを大切に、皆で見守りたいと思いました。
- ♥病院出産時の個室利用はプライバシー重視のためかと思っていました。思わぬ弊害があることを知り、ビックリしました。
- ♥“レレレのおばさん”になりたいです。

- ♥素敵なところをほめるということが、どれ程相手とのキョリを縮め、嬉しい気持ちにさせるかということを経験させていただきました。
- ♥日々頑張っている皆さんが、弱音をつぶやいたり自分のステキな部分を気づいたりできる地域の居場所になりたいと改めて思いました。地域の人をたくさん利用して子育てを楽しんでほしいです。
- ♥近くのかめっこの方々と顔見知りになれてよかったです。みんなの経験が子育ての知恵袋になるとよいです。今時の子育ての様子がよくわかりました。便利な世の中は変えられないけれど、考え方を少し変えたら良くなるのかなと思いました。

ネットワークで学びタイム



様々な事業の現場から得られた、たくさんの学びやエッセンスをまとめる作業。分野を超えて求められるスキルなので、かめっ子や地域の支え手、施設の職員、地域グループ等多くの方々の参加がありました。

「福祉分野の人は、思いを前面に出しがちであるが、科学的に数値でデータを示す等、裏付けを表現することが大切」「5W2Hでのまとめ方」「その人がいなくなると事業が衰退してしまうのは大きな損失。暗黙知を継承しよう」等々、ポイントを教わりました。福祉分野にもマネジメントの力を！～

“学び・考え・実力をつける”
事業のふりかえり方・まとめ方

山梨県立大学 田中謙先生

2/19(月)すくすくかめっ子研修会

10月～12月
～今ドキの産後の暮らしを学ぶ～

妊娠期から地域とつなげたい

“かめっ子”居場所の力

講師：ほうだあきこ氏・NPO 孫育てニッポン

「産むまでは世界一。産んでからは一人ぼっち。」と言われる産後の母達。ほうださんの方面別交流会で学んだ子育て世代の実態は、地域の公共おばちゃん・おじちゃんの“なんとかしたい！魂”に火をつけました！そこで、再びほうださんをお招きして、地域の身近なかめっ子を、“親子と妊娠期の人達のたまり場”にしていくヒントを、みなさんで学び、語り合いたいと思います。チラシ郵送いたしますネ
(会場：かな-てんてん)

ネットワーク交流会



「お手玉遊びは脳が働く！」・カラダと心を動かして！
いっぱい笑って！みんなで実感する機会になりました。
子育て支援をしている支え手のみなさんや保育所・幼稚園の先生方と一緒に共有できることが、何よりの財産です。
今回も、新しいお手玉遊びや、布を使った遊び等々を習いながら、それができた“喜び”をわかち合いました♪
「今日習ったことは、今日やらないとできない」という先生の言葉に、あきらめず、一生懸命練習し合う姿が…
机の上の勉強会だけではなく、“素”で交流する神奈川区のネットワーク力について、太鼓判を押していただきました！
“人の間で育ち合う”ことを支える、お手玉遊びを、これからもいろいろな場に広げていきたいですね～！

じゃこかい じゃこかい
じゃこなんもんめ
じゃこいちもんめ
お～ たかい たかいな～
(「お～」の所で左手を後ろから右手側に回しキャッチ)



てくてく パー
てくてく パー
(歩いて、歩いて、振り返って、パー！)



人を育む♡昔あそび
お手玉あそびの魅力

齋藤幸子先生



(服のポケットや靴下に布を隠して)
かく かく かくれんぼ
ちやわんに おたふく
すっぺらぼん！
(「すっぺらぼん」で布を出す)



うさぎ うさぎ (2つをクロスに投げて取る×2)
なにみて はねる (2つをクロスに投げて取る×2)
じゅうごや おつきさま (片手の甲へ1つ乗せ、もう片方は手のひらに乗せ、両手を交互に返す)
みては～ねる (両手手返し×4・最後両手でつかむ)

【編集後記】

「中学校のふれあい授業や、赤ちゃん学級に参加した妊婦さんがかめっ子にも来てくれている」と複数の地区からお話を聞きました。さらに、来所した妊婦さんから他の妊婦さんたちへ「かめっ子に行く」と知り合いが増えて、赤ちゃんが泣いたり困った時に相談しやすいので出産前からかめっ子に行くといいヨ♪」と声かけしてくれたとのこと。復職する時期が早くなった近頃。妊娠期から「地域」を知ってもらえる機会を大切にしたいですね。

